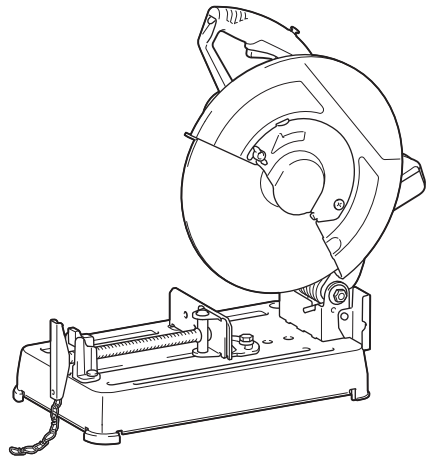


Makita

取扱説明書

355mm 充電式切断機

モデル LW141D



このたびは**充電式切断機**をお買い上げ賜
わり厚くお礼申し上げます。

ご使用に先立ち、この取扱説明書をよく
お読みいただき本機の性能を十分ご理解
の上で、適切な取り扱いと保守をしてい
ただいて、いつまでも安全
に能率よくお使いくださる
ようお願いいたします。

なお、この取扱説明書はお
手元に大切に保管してくだ
さい。



目次

・ 主要機能	3
・ 切断能力	3
・ 1回の充電での作業量	4
・ 安全上のご注意	5
・ 充電式切断機安全上のご注意	13
・ 各部の名称および標準付属品	15
・ 別販売品のご紹介	16
・ バッテリー（別販売品）について	17
・ ご使用前の準備	20
・ 切断砥石の取り付け・取りはずし方	20
・ ストッププレート調整	22
・ ガイドプレートとバイスプレート間の長さ調整	23
・ 切断角度の調整	24
・ 使い方	25
・ 材料の固定	25
・ スイッチの操作	27
・ 作業方法	28
・ 切断作業	28
・ 本機の持ち運び	29
・ 各種機能	30
・ バッテリー残容量表示機能	30
・ 負荷状態表示機能	31
・ ソフトスタート機能	31
・ 保護機能	32
・ 故障かな？と思ったら	33
・ 保守・点検	34
・ 本機のお手入れ	34
・ ご修理の際は	34

主要機能

主要機能	モデル	LW141D
電動機	DC ブラシレスモータ	
使用可能バッテリー (別販売品)	リチウムイオンバッテリー	
	BL1815N (容量 1.5 Ah) BL1840 (容量 4.0 Ah) BL1820B (容量 2.0 Ah) BL1850 (容量 5.0 Ah) BL1830 (容量 3.0 Ah) BL1850B (容量 5.0 Ah) BL1830B (容量 3.0 Ah) BL1860B (容量 6.0 Ah)	
電圧	直流 36V (18 V × 2)	
回転数	3,800 min ⁻¹ (回転 / 分)	
使用できる 砥石寸法	外径 355 mm × 厚さ 3.5 mm 以下 × 内径 25.4 mm	
本機寸法※ 1	長さ 510 mm × 幅 280 mm × 高さ 620 mm	
質量※ 2	14.9 kg	

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

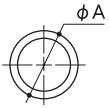
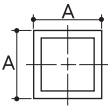
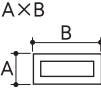
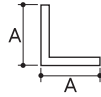
※ 1 バッテリーを除く

※ 2 バッテリー BL1860B 装着時

バッテリーアダプタ類について

・ 本製品はバッテリーアダプタ類を使用できません。使用した場合、けがや事故の原因になります。

切断能力※

切断形状				
90°切断	127 mm	119 mm	115 mm × 130 mm 102 mm × 194 mm 70 mm × 233 mm	137 mm
45°切断	127 mm	106 mm	115 mm × 103 mm	100 mm

※ 切断材料の板厚は 1.6 mm 以下を推奨しています。

主要機能

1 回の充電での作業量





- ・ 数値は参考値です。
- ・ 数値は材料の状態や気温などの条件の違いにより異なります。

材料 (幅×高さ×厚み)	作業量
	バッテリー BL1860B 装着時
メタルスタッド (75 mm × 45 mm × t 0.8)	約 150 本

- ・ ご使用前に、「取扱説明書」と「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、正しく使用してください。
- ・ 感電、火災、重傷などの事故を未然に防ぐために、この「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ・ 「充電工具」は、充電式（バッテリーパック式）電動工具を示します。

注意文の 警告 ・ 注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は  警告 と  注意 ・  注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

- | | |
|---|--|
|  警告 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。 |
|  注意 | : 誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。
なお  注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。 |
|  注 | : 製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なお注意。 |

⚠ 警告

作業環境

1. 作業場は、整理整頓してください。また、十分に明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 可燃性の液体・ガス・粉じんのある所で使用しないでください。
 - ・ 充電工具から発生する火花が発火や爆発の原因になります。
3. 使用中は子供や第三者を作業場に近づけないでください。
 - ・ 注意力が散漫になり、操作に集中できなくなる可能性があります。
 - ・ 作業者以外、充電工具や充電器のコードに触れさせないでください。

電気に関する安全事項

1. 電源コンセントは充電器の電源プラグに合ったものを使用してください。また、電源プラグの改造をしないでください。アース（接地）付きプラグは確実にアース（接地）をしてください。
 - ・ 改造していない電源プラグおよびそれに対応するコンセントを使用すれば、感電のリスクが低減されます。
2. 金属製のパイプや暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫の外枠などアース（接地）されているものに身体を接触させないようにしてください。
 - ・ 感電する恐れがあります。
3. 充電工具、バッテリーおよび充電器は、雨ざらしにしたり、湿った、または濡れた場所で使用したり、充電したりしないでください。
 - ・ 充電工具や充電器内部に水が入り、感電やバッテリーが短絡（ショート）する恐れがあります。
 - ・ バッテリー内部に水が入り短絡（ショート）すると、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
4. 充電器の電源コードを乱暴に扱わないでください。
 - ・ 電源コードを持って充電器を運んだり、引っ張ったりしないでください。また、電源プラグを抜くために電源コードを利用しないでください。
 - ・ 電源コードを熱、油、角のある所、動くものに近づけないでください。電源コードが損傷したり、身体に絡まって感電する恐れがあります。
5. 使用環境に適した延長コードを使用してください。
6. USB 端子付きの充電工具や充電器は、USB 端子間を短絡（ショート）させないでください。
 - ・ 釘、針金が USB 端子内に入ると、短絡（ショート）して発煙、発火の恐れがあります。

⚠ 警告

作業者に関する安全事項

1. 油断しないで十分注意して作業を行ってください。
 - ・ 充電工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
 - ・ 疲れていたり、アルコールまたは医薬品を飲んでいる方や妊娠している方は、充電工具を使用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合は、夜間の使用や悪天候などで視界の悪いときは充電工具を使用しないでください。
 - ・ 一瞬の不注意が深刻な傷害を招きます。
2. 安全保護具を使用してください。
 - ・ 作業時は、常に保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では防じんマスクを併用してください。必要に応じて、すべり防止安全靴・ヘルメット、耳栓、イヤマフなどを着用してください。
3. 不意な始動は避けてください。
 - ・ バッテリーを本機に挿し込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
 - ・ スイッチに指をかけて運ばないでください。
4. 充電工具の電源を入れる前に、調整キーやレンチなどは、必ず取りはずしてください。
 - ・ 電源を入れたときに、取り付けたキーやレンチなどが回転して負傷する恐れがあります。
 - ・ 本機に収納場所がある場合は、決められた位置にしっかり固定してください。
5. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・ 常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - ・ 髪、衣服、手袋は回転部分に近づけないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、ゴム手袋とすべり止めの付いた履物の使用をおすすめします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
7. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
 - ・ 充電工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置を確実に接続することで粉じんの人体への影響を軽減できます。

充電工具の使用および手入れ

1. 充電工具は能力に合った作業に使用してください。
 - ・ 安全に能率よく作業するために、充電工具の能力に合った負荷で作業してください。
2. スイッチに異常がないか点検してください。
 - ・ スイッチで始動および停止操作のできない充電工具は危険です。使用せず修理をお申し付けください。

⚠ 警告

3. 充電工具の誤始動を防ぐために、次の作業前はスイッチを切り、バッテリーを本機から抜いてください。
 - 本機の調整
 - 刃物、砥石、ビットなどの付属品の交換
 - 保管、または修理
 - 電動工具から離れるとき
 - 本機の受け渡し
 - その他危険が予想される作業
4. 使用しない充電工具、充電器およびバッテリーは、子供の手の届かない乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。
 - 充電工具や充電器からバッテリーを抜いて保管してください。
 - 充電器は電源コンセントから電源プラグを抜いて保管してください。
 - バッテリーはバッテリーカバーをつけて保管してください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 可動部分の位置調整および締め付け状態、部品の破損、取り付け状態、その他運転に影響をおよぼすすべての部位に異常がないか確認してください。
 - 保守点検が不十分であることが事故の原因になります。
 - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。
 - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
 - 充電器の電源コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
 - 充電器に使用する延長コードは、定期的に点検し、損傷している場合は交換してください。
 - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
6. 先端工具は、鋭利できれいな状態を保ってください。
 - 先端工具を適切に手入れすることで、円滑な作業と容易な操作ができます。
7. 取扱説明書で指定した先端工具、付属品、アタッチメントなどを使用してください。
 - 取扱説明書で指定のサイズ、形状、付属品などは、本機の性能や安全を引出すよう、最適に設計されています。
8. 充電工具、付属品、アタッチメント、先端工具類は、作業条件や実施する作業に合わせてご使用ください。
 - 指定された用途以外に使用すると、事故の原因になります。
9. 極端な高温や低温の環境下では十分な性能を得られません。

バッテリーに関する安全事項

1. バッテリーを挿し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
 - スwitchがオンの位置にあるときにバッテリーを挿し込むと事故につながります。

⚠ 警告

2. バッテリーは専用充電器以外では充電しないでください。
 - ・ほかのバッテリー用の充電器を流用すると、火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
3. マキタが指定した専用バッテリー以外使わないでください。また、改造したバッテリー（分解してセルなどの内蔵部品を交換したバッテリーを含む）を使用しないでください。
 - ・工具本体の性能や安全性なども損なう恐れがあり、火災やけが、故障、破裂などの原因になります。
4. バッテリーの端子部を金属などで接触させないでください。
 - ・バッテリーを金属と一緒に工具箱や釘袋などに保管しないでください。短絡（ショート）して発熱、発火、破裂の恐れがあります。
 - ・本機または充電器からはずした後は、バッテリーにバッテリーカバーを必ず取り付けてください（バッテリーカバー付きの場合）。
5. 高温などの過酷な条件下ではバッテリーから液漏れすることがあります。漏れ出た液体に不用意に触れないでください。
 - ・万が一、バッテリーの液が目に入ったら、直ちにきれいな水で十分洗い医師の治療を受けてください。
 - ・バッテリーの液は炎症ややけどの原因になることがあります。
6. バッテリーはマキタ製品以外に取り付けて使用しないでください。
 - ・火災、発熱、破裂、液漏れの恐れがあります。
7. バッテリーは、火への投入、加熱をしないでください。
 - ・発火、破裂の恐れがあります。
8. バッテリーに釘を刺す、切る、潰す、投げる、落とす、硬い物で叩くなど衝撃を与えないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
9. 分解・改造をしないでください。
 - ・発熱、発火、破裂の恐れがあります。
10. バッテリーを火のそばや炎天下など高温の場所で充電・使用・保管しないでください。
 - ・バッテリーを周囲温度が 50 °C 以上に上がる可能性のある場所（金属の箱や夏の車内など）に保管しないでください。バッテリー劣化の原因になり、発煙、発火の恐れがあります。
11. バッテリーを水のような導電体に浸さないでください。またバッテリーの内部に水のような導電体を侵入させないでください。
 - ・バッテリー内部に水のような導電体が侵入すると短絡（ショート）し、発熱、発火、破裂の恐れがあります。
12. 使用時間が極端に短くなったバッテリーは使用しないでください。
13. 落としたり、何らかの損傷を受けたバッテリーは使用しないでください。
 - ・損傷、または使用できなくなったバッテリーは回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。
14. 使用済みのバッテリーは一般家庭ゴミとして棄てないでください。
 - ・棄てられたバッテリーがゴミ収集車内などで破壊されて短絡（ショート）し、発火・発煙の原因になる恐れがあります。

⚠ 警告

15. バッテリーは、電力量が 100 Wh を超える場合、危険物に分類されます。

- 輸送の際は、輸送会社にお問い合わせの上、指示に従ってください。
- 電力量は、バッテリー裏側の注意ラベルに記載されています（右図の○部分）。



16. 使用中、使用後にバッテリーが熱くなることがあります。火傷、低温火傷の原因になるため注意してください。

- 使用直後は製品の端子部に触れないでください。熱くなっているため火傷の恐れがあります。

17. バッテリーに切りくず、ほこり、土などがたまらないようにしてください。

- 性能が低下したり、故障の原因になります。

整備

1. 充電工具は、専門家による純正部品だけを用いた修理により安全性を維持することができます。

- 本機、充電器、バッテリーを分解、修理、改造はしないでください。発火したり、異常動作して、けがをする恐れがあります。
- 本機が熱くなったり、異常に気づいたときは点検・修理に出してください。
- 本機は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの恐れがあります。

⚠ 警告

その他の安全事項

1. 損傷した部品がないか点検してください。

- ・ 使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。異常がある場合は、使用する前に修理を行ってください。
- ・ 破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書に従ってください。取扱説明書に記載されていない場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、または当社営業所に修理をお申し付けください。
- ・ 異常・故障時には、直ちに使用を中止してください。そのまま、使用すると発煙・発火、感電、けがに至る恐れがあります。
<異常・故障例>
 - ・ 本機やバッテリーが異常に熱い。
 - ・ 本機やバッテリーに深いキズや変形がある。
 - ・ 焦げくさい臭いがする。
 - ・ ビリビリと電気を感じる。

- ・ スwitchを入れても動かないなど不具合を感じた場合は、すぐにバッテリーを抜いてお買い上げの販売店、または当社営業所に点検、修理をお申し付けください。

2. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- ・ この取扱説明書および当社カタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。

3. 材料を加工する工具では、材料をしっかりと固定してください。

- ・ 材料を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で充電工具を使用できます（材料を動かして加工する製品を除く）。

4. ラッカー、ペイント、ベンジン、シンナー、ガソリン、ガス、接着剤などのある場所では充電しないでください。

- ・ 爆発や火災の恐れがあります。

5. 火災の恐れがあります。次のようなことをしないでください。

- ・ ダンボールなどの紙類、座布団などの布類、畳、カーペット、ビニールなどの上では充電しないでください。
- ・ 風窓のある充電器は、充電中に風窓をふさがないでください。また風窓に金属類、燃えやすいものを挿し込まないでください。
- ・ 綿ぼこりなど、ほこりの多い場所で充電しないでください。

6. 充電器のバッテリー装着部には充電用端子があります。金属片・水などの異物を近づけないでください。

- ・ そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

7. 充電器は充電以外の用途には使用しないでください。

8. 充電中、発熱などの異常に気が付いたときは、直ちに電源プラグを抜いて充電を中止してください。そのまま充電を続けると発煙、発火、破裂の恐れがあります。

⚠ 警告

9. 正しく充電してください。

- ・ 充電器は定格表示してある電源で使用してください。
- ・ 昇圧器などのトランス類や直流電源では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ ラベルに「発電機」の表示がある充電器はエンジン発電機（当社インバータ制御付エンジン発電機は除く）では使用しないでください。異常に発熱し、火災の恐れがあります。
- ・ 周囲温度が 10 °C 未満、または周囲温度が 40 °C 以上ではバッテリーを充電しないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ バッテリーは、換気のよい場所で充電してください。バッテリーや充電器を充電中、布などで覆わないでください。破裂や火災の恐れがあります。
- ・ 充電器の電源コードが踏まれたり、引っかけられたり、無理な力を受けて損傷することがないように場所で充電してください。発煙、発火、感電の恐れがあります。
- ・ 充電器を使用しないときは、電源プラグを抜いてください。

10. 充電器の電源プラグにぬれた手で触れないでください。

- ・ 感電の恐れがあります。

11. 充電工具を高圧電線の近くで使用しないでください（高圧電線対応製品は除く）。

- ・ 誤動作や故障する恐れがあります。

12. 充電器で使用する延長コードの太さ（導体公称断面積）と長さの目安

- ・ 充電器の使用時に延長コードが必要な場合、充電器を最高の能率で支障なくご使用していただくために十分な太さの延長コードをできるだけ短くお使いください。

太さ（導体公称断面積）	長さの目安
2.0 mm ²	30 m

この取扱説明書は、大切に保管してください。

- ・ お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることができる所に必ず保管してください。
- ・ ほかにの人に貸し出す場合は、一緒に取扱説明書もお渡しください。

●騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制がありますので、ご近所などの周囲に迷惑をかけないようにご使用ください。

充電式切断機安全上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、充電式切断機として、さらに次の注意事項を守ってください。

JPB277-1

⚠ 警告

1. ホイルカバーは、必ず取り付けて使用してください。
 - ・ 砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
2. 砥石は、本機および主要機能に表示されている回転数よりも高い許容回転数（最高使用周速度）が表示されている当社指定の砥石を使用してください。また、砥石の取扱説明書を必ずお読みください。
 - ・ 砥石が破壊し、事故やけがの原因になります。
3. 切断砥石は正しい使用面（外周下面）で切断してください。側面や上面では切断しないでください。切断砥石以外の砥石での切断はしないでください。
 - ・ 砥石が破壊し、事故やけがの原因になります。
4. 砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。
 - ・ 異常があると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
5. 水、研削液などは使用しないでください。
 - ・ 乾式用のため、砥石の破壊によるけがや感電の恐れがあります。
6. 使用中は、回転部に手や顔などを近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 研削粉は火花となって飛散するので、引火しやすいもの、傷付きやすいものは、安全な場所に遠ざけてください。また、切断火花を直接手足などに当てないようにしてください。
 - ・ 火災や、やけどの原因になります。
8. 使用中、本機の調子が悪かったり、異常音が出たときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店、または弊社営業所に点検・修理を依頼してください。
 - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
9. 誤って落としたり、ぶつけたときは、砥石や本機などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。
 - ・ 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- 10.〔事業者の方へ〕 砥石の取り替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

関連法令

労働安全衛生法

第 59 条

労働安全衛生規則

第 36 条

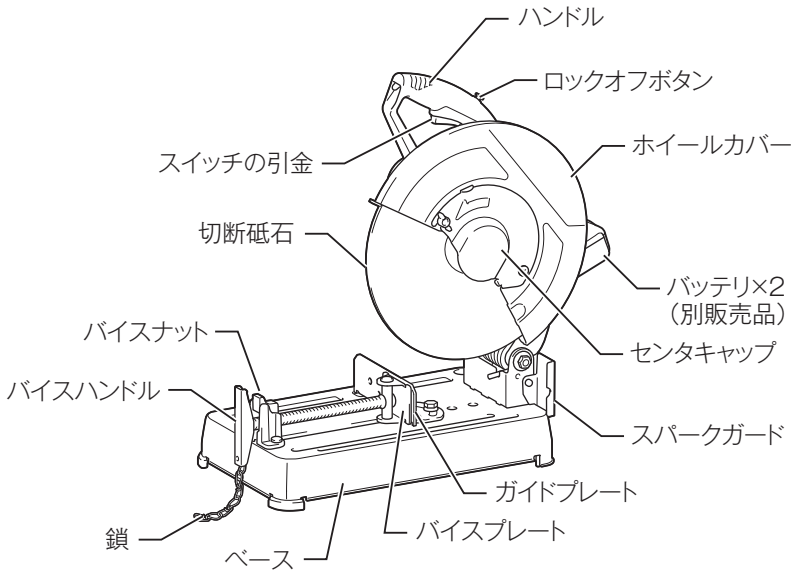
労働安全特別教育規程

第 1 条、第 2 条

⚠ 注意

1. 傾斜のない平坦な場所にすえ付けて、安定した状態にしてください。
 - ・ 不安定な状態では、作業中、材料が動いて切断砥石が破壊し、けがの原因になります。
2. 工具類（砥石など）や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
 - ・ 確実に取り付けないと、はずれたりし、けがの原因になります。
3. 新しい砥石を取り付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
 - ・ 砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
4. 試運転を励行してください。
 - ・ 試運転時間は（切断砥石交換のとき 3分間以上）
（その日の作業始めのとき 1分間以上）です。
 - ・ 試運転せずに作業を開始すると、思わぬけがの原因になります。
5. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確かめてください。
 - ・ 材料や本機などを落としたときなど、事故の原因になります。
6. 切断材は確実に固定してください。
 - ・ 固定が不十分な場合、砥石が破壊したり、材料が飛びけがの原因になります。
7. 指定以外の刃物（丸のこ刃、チップソーなど）での切断作業はしないでください。
 - ・ 丸のことしての保護装置がなく、けがの原因になります。
8. 切断直後の材料は、高温になっているので触れないでください。
 - ・ やけどの原因になります。
9. 砥石は、水分や湿気のない乾燥した場所に保管してください。
 - ・ 水分や湿気によって強度が低下し、砥石破壊の原因になります。
10. 回転させたまま、放置しないでください。
 - ・ けがの原因になります。

各部の名称および標準付属品



標準付属品

- ・ 切断砥石 355A36P
- ・ ボックスレンチ 17

別販売品のご紹介

- ・ 別販売品の詳細につきましてはカタログを参照していただくか、お買い上げの販売店、または当社営業所へお問い合わせください。
- ・ 切断砥石 355A36P
部品番号：A-68183 (25 枚入)
- ・ 鉄工用切断砥石
部品番号：A-30405 (5 枚入)
部品番号：A-51786 (5 枚入) 両面補強タイプ
- ・ 軽天材用切断砥石
部品番号：A-33227 (25 枚入)
- ・ バッテリー BL1815N (容量 1.5 Ah)
部品番号 A-60311
- ・ バッテリー BL1820B (容量 2.0 Ah)
部品番号 A-61715
- ・ バッテリー BL1830B (容量 3.0 Ah)
部品番号 A-60442
- ・ バッテリー BL1850B (容量 5.0 Ah)
部品番号 A-59900
- ・ バッテリー BL1860B (容量 6.0 Ah)
部品番号 A-60464

バッテリー（別販売品）について

バッテリーについて

- ・ お買い上げ時は、バッテリーは十分に充電されていないため、バッテリー保護機能が働いている場合があります。（スイッチを操作すると本機は動く恐れがありますので注意してください。）ご使用前に急速充電器で正しく充電してからご使用ください。
- ・ 使用しないときはバッテリーカバーをかぶせてください。バッテリーを水やほこりから保護するのに役立ちます。
- ・ 使用しないときは本機からバッテリーを抜いて保管してください。

バッテリーを長持ちさせるには

- ・ 工具の力が弱くなってきたと感じたら使うのをやめ、充電してください。
- ・ 満充電したバッテリーを再度充電しないでください。
- ・ 充電は周囲温度 10℃～40℃の範囲で行ってください。
- ・ 使用直後などの熱くなったバッテリーは、充電器に差し込んで冷却し充電することをおすすめします。
- ・ 長期間（6ヶ月以上）ご使用にならない場合、リチウムイオンバッテリーは充電してから保管することをおすすめします。

バッテリーの回収について

- ・ 使用済みバッテリーはリサイクルのため回収しております。お買い上げの販売店、または当社営業所へご持参ください。



リチウムイオンバッテリーは
リサイクルへ

バッテリー（別販売品）について

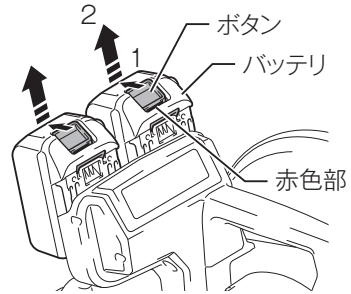
バッテリーの取り付け・取りはずし方

⚠ 警告

バッテリーは確実に差し込んでください。ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまでしっかり差し込んでください。

・ 差し込みが不十分ですと、はずれて事故の原因になります。

- ・ バッテリーを本機から取りはずすときは、
 1. バッテリー正面のボタンを下げながら
 2. スライドさせると取りはずせます。
- ・ 取り付けるときは逆の要領で、本機の溝に合わせ、奥まで挿入してください。この際、ボタン上部の赤色部が見えている場合は完全にロックされていません。赤色部が見えなくなるまで、奥まで確実に挿入してください。



注

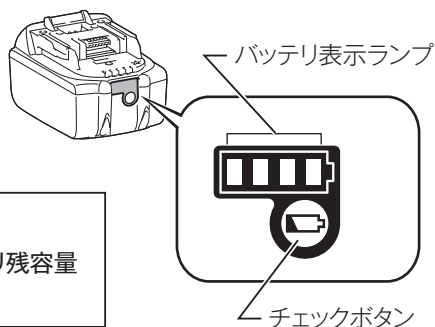
- ・ 必ず充電済みのバッテリー 2 本を取り付けてください。
- ・ バッテリーが 1 本の場合やバッテリー 2 本のうち片方が充電されていない場合はスイッチが入りません。

バッテリー（別販売品）について

バッテリー残容量表示機能

モデル名の末尾に「B」の付くバッテリーは、残容量表示機能が付いています。

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが残容量を数秒間表示します。



バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
:点灯 :点滅 :消灯	
	75 % - 100 %
	50 % - 75 %
	25 % - 50 %
	0 % - 25 %
	充電してください。
	バッテリーの異常です。

注

- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

ご使用前の準備

切断砥石の取り付け・取りはずし方

⚠警告

切断砥石の取り付け・取りはずしの際は、必ずスイッチを切りバッテリーを取りはずしてください。

- ・ バッテリーを取り付けたまま行くと事故の原因になります。

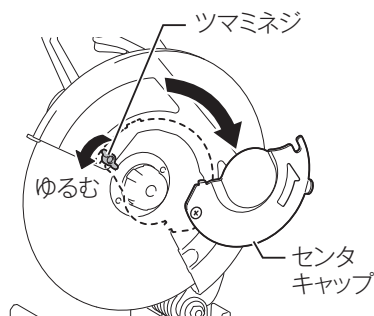
⚠注意

切断砥石の取り付け・取りはずしの際は、ツマミに付着している切粉を拭きとってからツマミを回してください。

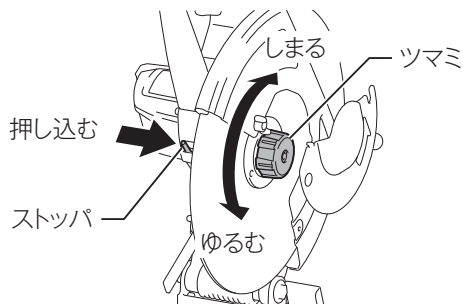
- ・ けがの原因になります。

取りはずし方

1. ツマミネジをゆるめ、センタキャップを持ち上げます。

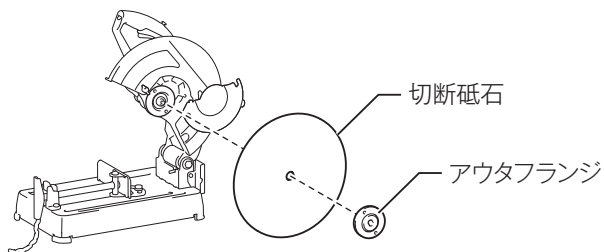


2. ストッパを押し込んで砥石軸の回り止めをしてから、ツマミをゆるめてはずします。



ご使用前の準備

3. アウタフランジ→切断砥石の順に取りはずします。

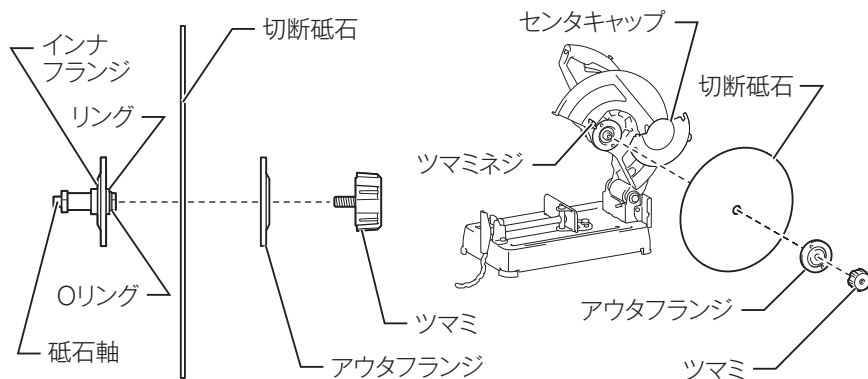


注

- ・ インナフランジ、リング、Oリングははずさないでください。

取り付け方

- ・ 取りはずし方の逆の要領で行います。
砥石軸に切断砥石→アウタフランジ→ツマミの順に取り付けて、ツマミをしっかり締め付けます。
- ・ 切断砥石の交換後は、センタキャップを閉じてツマミネジで確実に固定します。



ご使用前の準備

ストッププレート調整

⚠ 警告

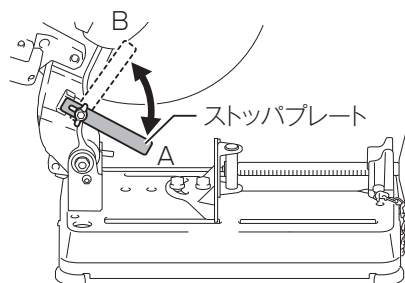
ストッププレート調整の際は、必ずスイッチを切りバッテリーを取りはずしてください。

- ・ バッテリーを取り付けたまま行くと事故の原因になります。

- ・ ストッププレートの位置を変えることで、切断砥石とベースや床面の距離を調整できます。

A：切断砥石が新品

B：切断砥石の摩耗により材料に届かない、薄い材料など



ご使用前の準備

ガイドプレートとバイスプレート間の長さ調整

⚠ 警告

ガイドプレートとバイスプレート間を調整する際は、必ずスイッチを切り、バッテリーを取りはずしてください。

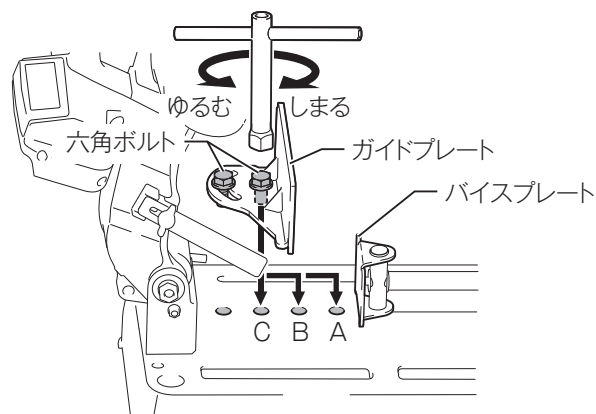
- ・ バッテリーを取り付けたまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

ガイドプレートとバイスプレート間の長さ調整後は、六角ボルト（2本）を確実に締め付けてください。

- ・ 材料の固定が不安定となり、けがの原因になります。

- ・ 工場出荷時は、ガイドプレートとバイスプレート間の長さが 0 ~ 170 mm に設定してあります。
170 mm 以上の長さが必要なときは、次の手順で調整をしてください。
1. 付属のボックスレンチ 17 で六角ボルト（2本）をはずして図の位置にガイドプレートを移動します。
 2. 調整後は六角ボルト（2本）をしっかりと締め付けます。



ガイドプレートとバイスプレート間の長さ

- A : 0 ~ 170 mm (工場出荷時)
- B : 35 ~ 205 mm
- C : 70 ~ 240 mm

ご使用前の準備

切断角度の調整

⚠ 警告

切断角度を調整する際は、必ずスイッチを切りバッテリーを取りはずしてください。

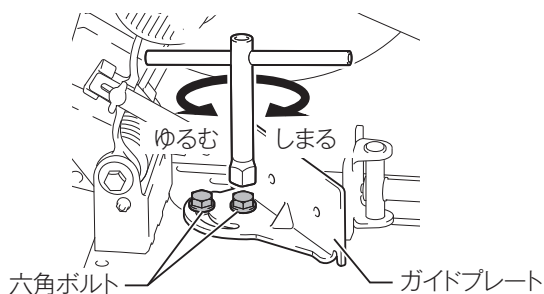
- ・ バッテリーを取り付けたまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

切断角度の調整後は、六角ボルト（2本）を確実に締め付けてください。

- ・ 材料の固定が不安定となり、けがの原因になります。

1. 付属のボックスレンチ 17 で六角ボルト（2本）をゆるめ、ガイドプレートを 0 ~ 45° の任意の角度に調整します。
2. 調整後は六角ボルト（2本）をしっかりと締め付けます。



注

- ・ ガイドプレートを 0 ~ 170 mm 以外の位置に設定した場合は、右（時計回り）方向の角度切断をしないでください。
- ・ 切断材をしっかりとバイスにて固定できない角度での切断はしないでください。

使い方

材料の固定

⚠ 警告

材料を固定する際は、必ずスイッチを切りバッテリーを取りはずしてください。

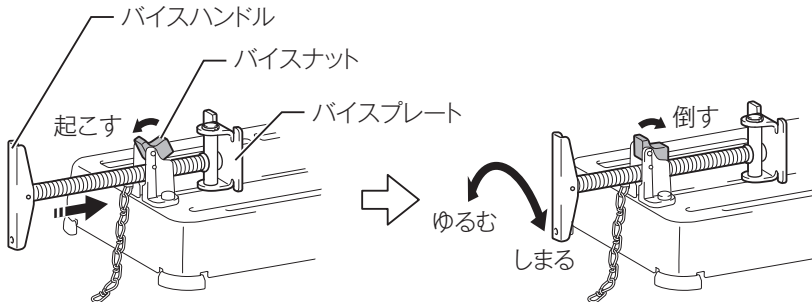
- ・ バッテリーを取り付けたまま行くと事故の原因になります。

⚠ 注意

バイスナットは完全にバイスプレート側に倒して材料の固定をしてください。

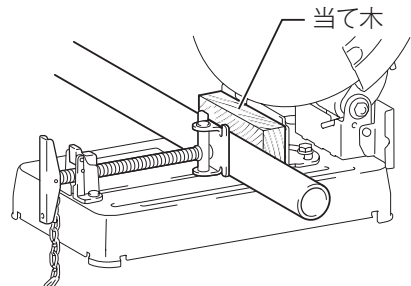
- ・ 材料の固定が不十分となり、切断中に材料が飛ばされ切断砥石が破損するなど、けがの原因になります。

1. バイスナットをバイスハンドル側に起こします。
2. バイスハンドルを押して、材料にバイスプレートを押し当てます。
3. バイスナットをバイスプレート側に倒します。
4. バイスハンドルを回して材料をしっかりと固定します。



切断砥石が摩耗して直径が小さくなった場合

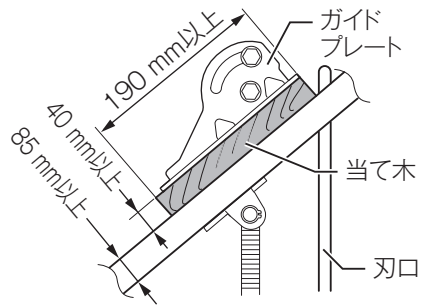
- ・ 当て木をガイドプレート側に挟み込んで砥石の真下で切断します。



使い方

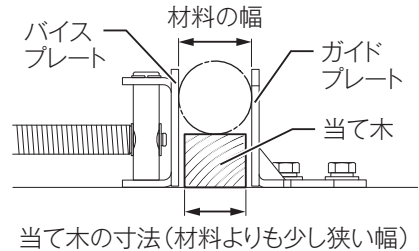
幅が 85 mm 以上の材料を角度切断する場合

- ・ ガイドプレートに当て木を取り付けます。
当て木はガイドプレートの穴を利用してネジで取り付けてください。



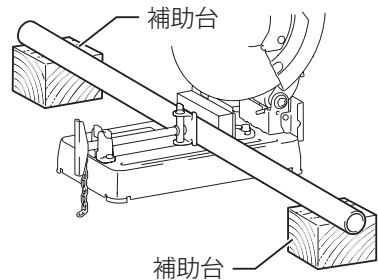
当て木のサイズについて

- ・ 材料の幅よりも少し小さめの当て木を材料の下に敷いて使用すると経済的に切断砥石を使うことができます。



材料が長い場合

- ・ 必ず両端を補助台に乗せてベース面との高さを調整して安定させてください。



使い方

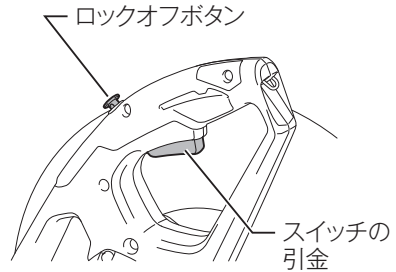
スイッチの操作

⚠ 警告

バッテリーを本機に差し込む前に、スイッチから手を放し、スイッチが切れていることを必ず確認してください。

・ スイッチを入れたままバッテリーを差し込むと急に動きだし事故の原因になります。

- ・ スイッチはロックオフボタンを押し下げながら、スイッチの引金を引くと入り、放すと切れます。
- ・ スイッチの引金を放すと自動的にロックオフ機構が働き、スイッチが入らない状態になります。



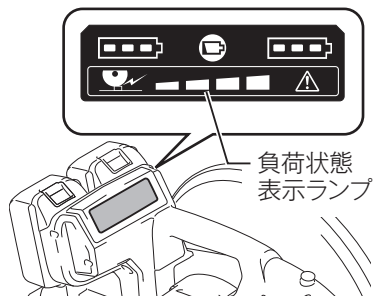
作業方法

切断作業

1. ハンドルをしっかりと握り、ロックオフボタンを押し下げながら、スイッチを入れます。
2. 切断砥石の回転が上昇し、安定したことを確認します。
3. 切断砥石が材料に接するまでハンドルを静かに降ろし、適度な力を入れて切断します。
4. 所定の切り込み深さに達したとき、または切断が完了したときは、スイッチを切り、ハンドルを静かに持ち上げます。

注

- ・ ハンドルには必要以上の力を加えないでください。
- ・ 負荷状態表示ランプを確認しながら、適度な押し荷重で作業をしてください。
(負荷状態表示については 31 ページ参照)



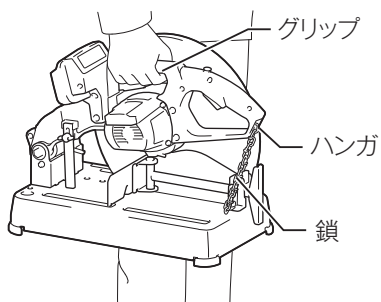
本機の持ち運び

⚠ 警告

本機を持ち運ぶ際は、必ずスイッチを切りバッテリーを取りはずしてください。

・ バッテリーを取り付けたまま行くと事故の原因になります。





- ・ 切断砥石を最も低い位置にしてハンガに鎖を引っかけます。
- ・ 持ち運びの際は、運搬用のグリッブを持ってください。

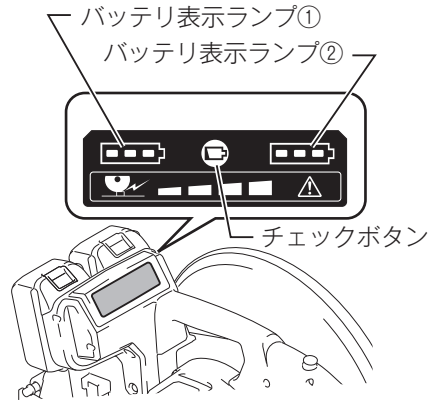


各種機能

バッテリー残容量表示機能

- ・ チェックボタンを押すとバッテリー表示ランプが点灯しバッテリーの残容量を確認できます。
- ・ 表示ランプが点滅したときはバッテリーを充電してください。

バッテリー表示ランプ	バッテリー残容量
■:点灯 □:消灯 ◻:点滅	
	50% - 100%
	20% - 50%
	0% - 20%
	充電してください




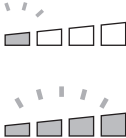
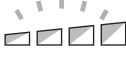
注

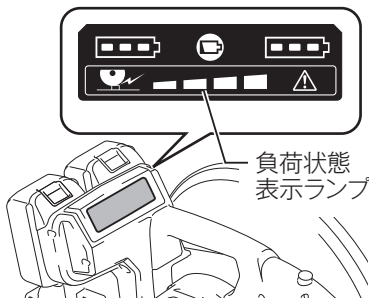
- ・ 表示される残容量は、ご利用状況や気温などによって実際の残容量と異なる場合があります。

各種機能

負荷状態表示機能

- ・ 負荷状態表示ランプは切断作業中のモータにかかる負荷の大きさを検知してその負荷の大きさをランプ表示でお知らせします。
- ・ 負荷が大きくなるにつれてより多くの負荷状態表示ランプが点灯します。
- ・ モータが過負荷の状態になると、すべての負荷状態表示ランプが点滅します。ランプが点滅した際は、作業を緩やかにするなどしてモータへの負荷を減らしてください。

負荷状態表示ランプ ■:点灯 □:消灯 □:点滅	負荷状態
	負荷：無し
	負荷：適正な負荷
	負荷：過負荷 (継続するとモータ自動停止)



注

- ・ ランプが点滅している状態でモータに負荷をかけ続けると、数秒で保護機能が働きモータが自動停止します。
- ・ モータに一度に大きな負荷がかかった場合は、負荷状態表示ランプが点滅せずにモータが自動停止します。
- ・ モータが自動停止した場合は、一旦スイッチを切り、バッテリーを取りはずしてから、過負荷の原因を取り除いてください。





ソフトスタート機能

- ・ スwitchの引金を引いたとき、反動をおさえスムーズに回転し始めます。

保護機能

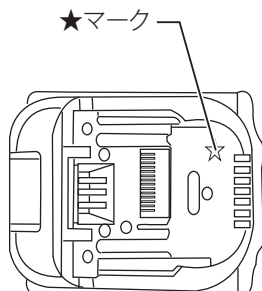
本機およびバッテリーの保護機能

本機を使用中、下記状態になりますとモータが自動停止しますが、これは保護機能によるものであり故障ではありません。

保護機能	表示ランプ
<ul style="list-style-type: none"> 本機およびバッテリーの温度が高くなるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> 使用を中断して本機よりバッテリーを取りはずし、冷却ファン付きの充電器で充電および冷却をしてください。 バッテリーを冷ましても本機が動作しない場合は、本機を冷ましてください。 	<p>バッテリー表示ランプ</p>  <p>■:点灯 □:点滅</p>
<ul style="list-style-type: none"> バッテリーの容量が少なくなるとモータが自動停止します。 <ul style="list-style-type: none"> 本機よりバッテリーを取りはずし、バッテリーを充電してください。 	<p>バッテリー表示ランプ</p>  <p>■:点滅 □:消灯</p>
<ul style="list-style-type: none"> 本機が過負荷状態になると負荷状態表示ランプが点滅します。過負荷の状態で作業を継続するとモータが自動停止します。 モータが自動停止すると状態表示ランプは消灯します。 <ul style="list-style-type: none"> いったんスイッチを切り、再度スイッチを入ると復帰します。 再起動しない、またはすぐに止まってしまう場合は、33ページの故障かな?と思ったらを参照してください。 	<p>負荷状態表示ランプ</p>  <p>点滅 (過負荷検知)</p>  <p>消灯 (モータ停止)</p>

★マークについて

図のようにバッテリーに★マークがあるバッテリーは保護機能を搭載しています。



故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記項目を点検してください。

症状

- 本機が停止する
- 始動しない

原因

保護機能※が働き、本機またはバッテリーが機能停止している可能性があります。

解消方法

スイッチを切って、再度入れてください。

↓ 解消しない

バッテリーを充電するか、充電済みのバッテリーと交換してください。

↓ 解消しない

本機を十分に冷ましてください。

↓ 解消しない

お買い上げの販売店、または当社営業所まで修理をお申し付けください。

※保護機能については 32 ページ参照。

- ・ 修理をお申し付けの際は、製品、バッテリー、充電器を一緒にお持ちください。

⚠ 警告

- 点検・整備の際には必ずスイッチを切りバッテリーを取りはずしてください。
- ・ バッテリーを取り付けたまま行くと事故の原因になります。

本機のお手入れ

- ・ 乾いた布か薄めた中性洗剤をつけた布できれいに拭いてください。

注

- ・ 水洗いは絶対にしないでください。
 - ・ 本機内部に水が入り、故障の原因になります。
- ・ ガソリン、ベンジン、シンナー、アルコールなどは変色、変形、ひび割れの原因となりますので使用しないでください。

ご修理の際は

- ・ 修理はご自分でなさらないで、必ずお買い上げの販売店、または当社営業所にお申し付けください。

881D38C6
IWT

株式会社マキタ
愛知県安城市住吉町 3-11-8 〒446-8502
TEL.0566-98-1711 (代表)